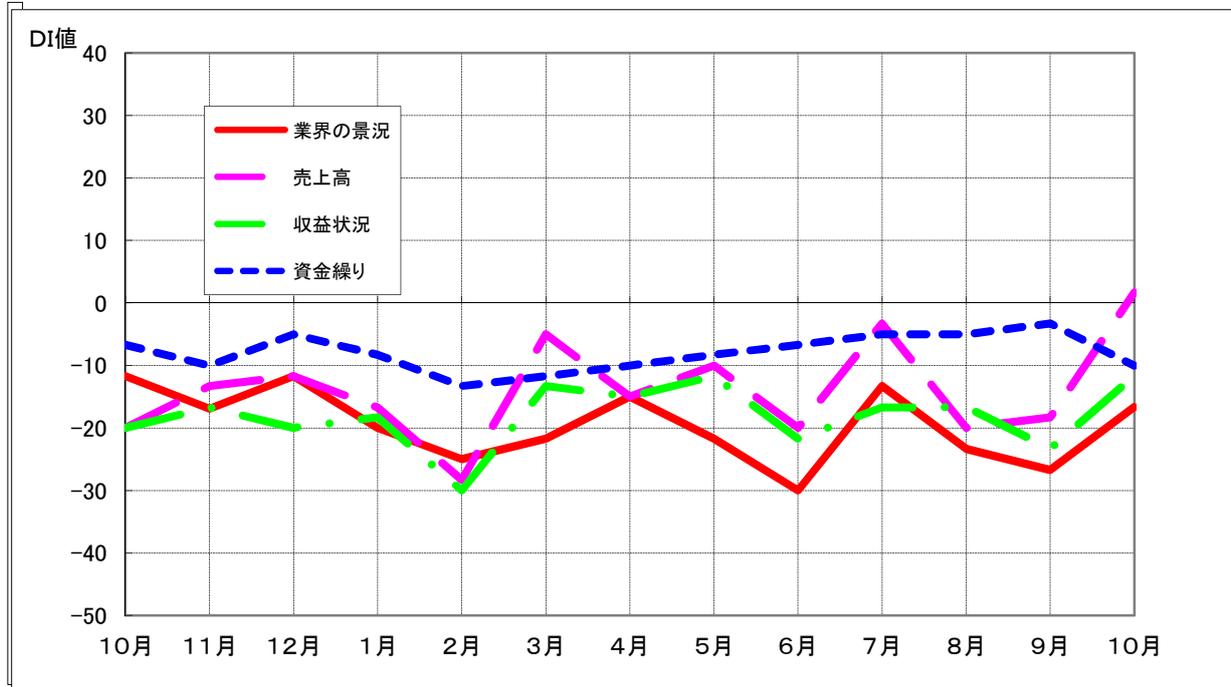


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成29年10月～平成30年10月

単位:ポイント



	H29			H30									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-11.7	-16.9	-11.7	-20.0	-25.0	-21.7	-15.0	-21.7	-30.0	-13.3	-23.3	-26.7	-16.7
売上高	-20.0	-13.3	-11.7	-16.7	-28.3	-5.0	-15.0	-10.0	-20.0	-3.3	-20.0	-18.3	1.7
収益状況	-20.0	-16.7	-20.0	-18.3	-30.0	-13.3	-15.0	-11.7	-21.7	-16.7	-16.7	-23.3	-11.7
資金繰り	-6.7	-10.0	-5.0	-8.3	-13.3	-11.7	-10.0	-8.3	-6.7	-5.0	-5.0	-3.3	-10.0

10月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化であった。「業界の景況」DI値は10ポイント、「売上高」DI値は20ポイント、「収益業況」DI値は11.6ポイントそれぞれ改善した。「資金繰り」DI値は6.7ポイント悪化となった。

前年同月比でみると2項目改善、2項目悪化であった。「売上高」DI値は21.7ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイントそれぞれ改善した。一方で「業界の景況」DI値は5ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化となった。連絡員からは、一部回復している業界はあるものの、未だ原料の高騰・運送費の上昇・人材不足に苦しんでおり、売上高・受注量が低下傾向との報告が多く寄せられたが、数値的には売上高を中心に改善傾向となった。

組合の特記事項からは、製造業において、一部食品品製造業では天候の安定等により仕入単価も安定してきているとの報告があったが、その他製造業は未だ原料の高騰・運送費の上昇・人材不足に苦しんでいる。

非製造業では前月に引き続き、袋セメント卸売業、広告業などでは受注の上向き傾向は継続中である。エンドユーザーの財布のヒモは固くなる一方ではあるが、一部商店街では若手経営者層が中心となり、商店街のキャッシュレス化を推し進めているなど、新しい動きがみられる。